

第4期天草市新和地域まちづくり計画

『地域の“宝”の活用と交流による
“心ゆたかなまち”の創造』

天草市新和地域

制 定 日	令和8年3月12日
改 正 日	初版

第4期天草市新和地域まちづくり計画 目次

1	計画のあらまし	P1～P2
1.1	計画策定の趣旨	P1
1.2	計画の性格	P1
1.3	計画の期間	P1
1.4	計画の体系	P2
2	新和地域の概要	P3～P4
2.1	位置・地勢	P3
2.2	面積・土地利用	P3
2.3	人口・世帯数	P3～P4
3	めざす姿	P5～P7
3.1	めざす姿をどのように実現に近づけるか	P5～P7
3.2	取り組みによって解決が期待される課題	P7
4	計画の推進体制	P8
4.1	実施	P8
4.2	評価・改善	P8
5	地域別計画	P9～P36
5.1	小宮地地区振興計画	P9～P13
5.2	宮南地区振興計画	P14～P17
5.3	大宮地地区振興計画	P18～P21
5.4	大多尾地区振興計画	P22～P25
5.5	中田地区振興計画	P26～P32
5.6	碓石地区振興計画	P33～P36

1 計画のあらまし

1.1 計画策定の趣旨

平成 18 年 3 月 27 日、2 市 8 町が合併して天草市が誕生しました。市内各地域には、素晴らしい自然や独自の文化や歴史、豊かな農林水産資源、さらには、日々の生活で育まれた相互扶助の精神など、全国に誇れる地域資源が数多くあります。

しかしながら、今日、本市においては、人口減少の急速な進展による過疎地域の増加や担い手不足による地域産業の衰退、さらには市民ニーズの多様化や少子高齢化への対応など多くの課題を抱えております。

このような地域社会を取り巻く環境の変化を、住民一人ひとりが「自分ごと」、「みんなごと」と捉え、地域住民と行政協働のもと、地域の特色や個性を活かした活動をできるところから実行し、「地域力」を高めていくことが重要になっています。

まちづくりに関する施策を効果的・効率的に推進するためには、地域住民と行政が一体となって、体系的・計画的に取り組む必要があるため、本地域のまちづくりの指針となる「天草市新和地域まちづくり計画」を策定し、「未来へ続く魅力ある地域づくり」を推進し、その実現を目指すものです。

今回、第 3 期天草市新和地域まちづくり計画を検証し、地域の課題等を再確認するとともに内容の見直しを行いました。

1.2 計画の性格

本計画は、次のような性格を持っています。

- ① 長期的・総合的な視点から、本地域が目指す今後のまちづくりの基本的な方向を示しています。
- ② 本市が策定する「第 3 次天草市総合計画基本計画」と方向性を共有しながら、地域が主体となって策定する計画として策定します。
- ③ 本地域の地域住民や行政機関のみならず、まちづくり関係団体、企業、学校など、地域全体でまちづくりに取り組む方向性を示しています。

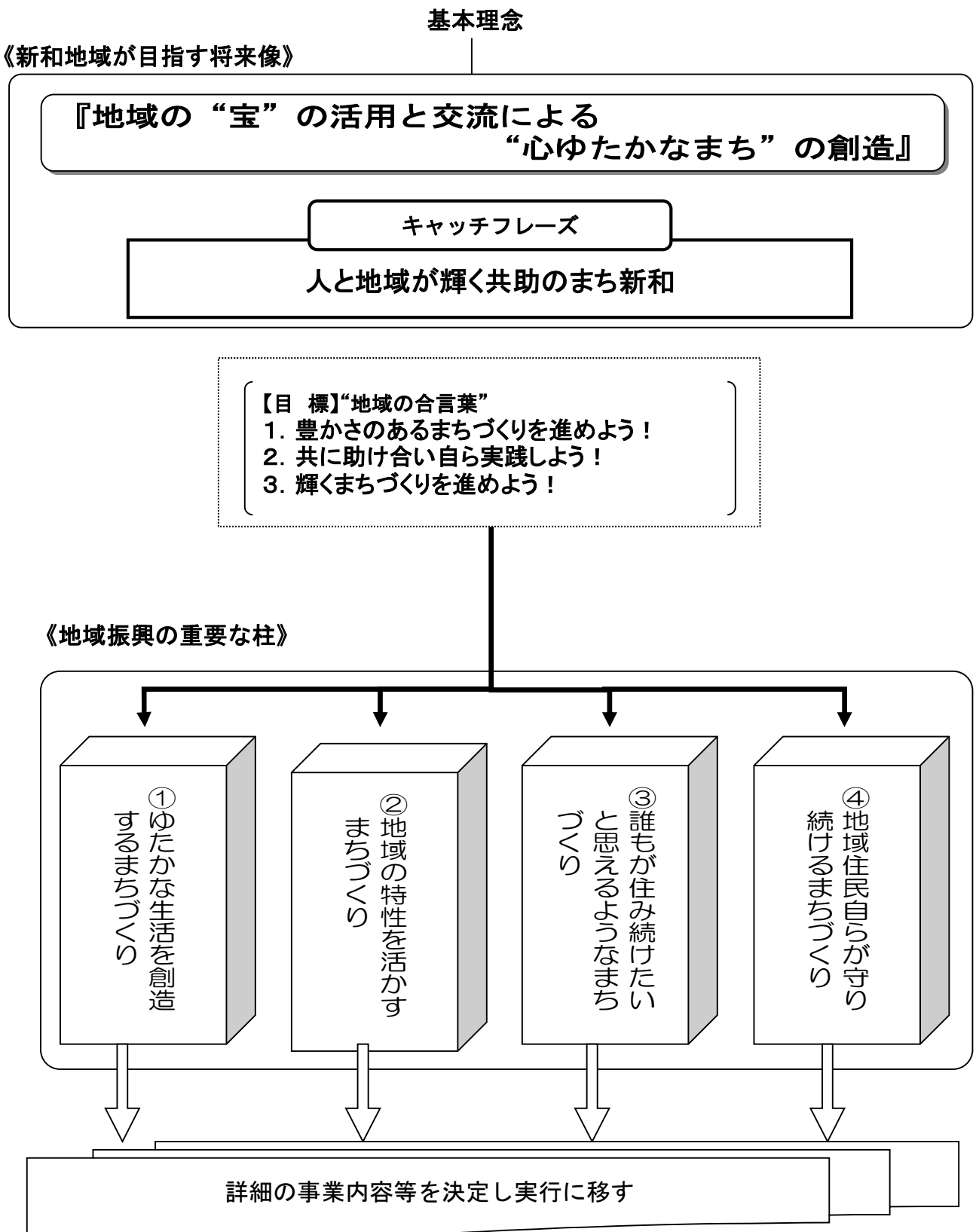
1.3 計画の期間

本計画の期間は、令和 8 年度から令和 11 年度までの 4 年間です。

また、実現すべき施策目標を設定するとともに、その施策目標を達成するために必要な計画を示したものです。

1.4 計画の体系

図1 天草市新和地域まちづくり計画の方策の体系



2 新和地域の概要

2.1 位置・地勢

本地域は、天草下島の中東部に位置し、本市の中心市街地までは15分圏域にあります。中田港からはフェリーが運航し、鹿児島県長島町との間に海路も開かれています。

海・山・川などの豊かな自然資源を有し、一部は雲仙天草国立公園に指定されています。また、本地域の北側玄関口に群生する市の花“はまぼう”の群生地は、日本最大級の規模を誇ります。四季を通じて自然体験が楽しめる「竜洞山」では、長崎県から鹿児島県を望める360°の大パノラマを満喫できます。さらに、竜洞山の麓には、「楊貴妃」伝説の言い伝えがあり、本地域のシンボルとして様々な場面に登場します。

図2 新和地域位置図

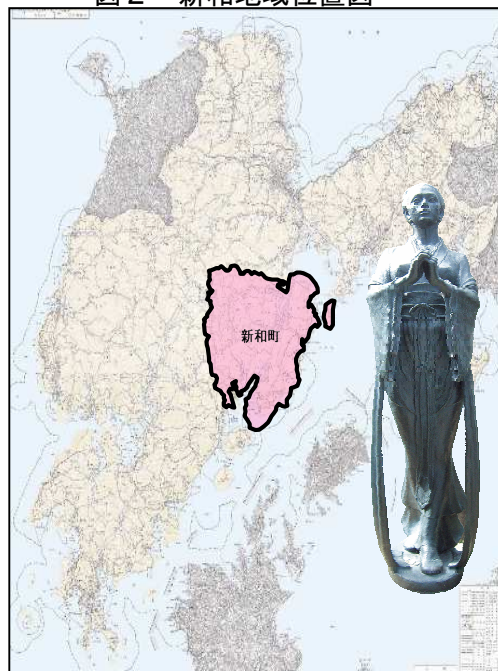


表1 新和地域面積

	新和地域	天草市
面積 (km ²)	55.22	683.87
割合 (%)	8.07	100

(2018 (平成30)年10月1日現在)
(国土地理院九州地方測量部)

2.2 面積・土地利用

本地域の総面積は、55.22 km²で、市の面積の約8.07%を占めています。

土地利用については、全体の約86.4%を農地・山林で占めており、宅地・道路用地については約4.9%となっています。

2.3 人口・世帯数

表2 新和地域の人口、世帯数の推移

区分	2005 (H17) 年	2010 (H22) 年	2015 (H27) 年	2020 (R2) 年
人口 (人)	3,960	3,387	3,018	2,689
世帯数 (世帯)	1,318	1,245	1,190	1,112
世帯当たり人員 (人)	3.00	2.72	2.54	2.42



表3 新和地域の総人口、年齢階層別人口の推移

区分	2005 (H17) 年		2010 (H22) 年		2015 (H27) 年		2020 (R2) 年	
	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)
総人口	3,960	100.0%	3,387	100.0%	3,018	100.0%	2,689	100.0%
0～14 歳	473	11.9%	324	9.6%	255	8.4%	208	7.7%
15～64 歳	2,128	53.7%	1,764	52.1%	1,417	47.0%	1,171	43.5%
65 歳以上	1,359	34.3%	1,299	38.4%	1,346	44.6%	1,310	48.7%



表4 新和地域の産業別就業者数の推移

区分	2005 (H17) 年		2010 (H22) 年		2015 (H27) 年		2020 (R2) 年	
	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)
就業人口総数	1,718	100.0%	1,528	100.0%	1,397	100.0%	1,334	100.0%
第1次産業	461	26.8%	414	27.1%	377	27.0%	350	26.2%
第2次産業	403	23.5%	299	19.6%	280	20.0%	263	19.7%
第3次産業	852	49.6%	815	53.3%	740	53.0%	719	53.9%






3 めざす姿

新和まちづくり協議会は、平成18年に発足、20周年を迎えるにあたり、新和地域の豊かな自然、農林水産物、人財など様々な資源（宝）を活用し、豊かな生活とともに心の豊かさを追求し、活力あるまちづくりを推進します！

3.1 めざす姿をどうやって実現に近づけるか？

※4年間どこまで

<p>①ゆたかな生活を創造するまちづくり</p> <p>○地元酒造メーカーとの協働</p>		<p>●耕作放棄地を活用し、地元焼酎醸造所で使用するイモを町内で全量生産する。</p>
<p>②地域の特性を活かすまちづくり</p> <p>○スポーツによるまちづくり事業の推進</p> <p>○竜洞山みどりの村の誘客促進</p> <p>○はまぼう群生地への誘客促進</p> <p>○地域の伝統文化・祭りの継承</p>		<p>●新和出身のスポーツ選手と連携し、野球教室やランニングイベント等を開催する。</p> <p>●宮南地区と連携し、緑の村を活用したイベントを開催し、PRを図る。</p> <p>●夏の観察週間、冬のライトアップ事業等、年間を通じたPRを図るとともに、子どもの学びの場として活用する。</p> <p>●各地区の伝統的な祭りや行事、文化財保全活動を支援する。</p>
<p>③誰もが住み続けたいと思えるようなまちづくり</p> <p>○新和町民が集える場の提供</p> <p>○新和まちづくり活動ポイント事業の推進</p> <p>○新和出身者との連携強化</p>		<p>●住民のニーズを踏まえ、地区振興会と連携し、誰もが参加したくなる祭りやスポーツ行事等を開催する。</p> <p>●地区振興会と連携し、天草のさりーを活用したまちづくり活動の活性化策を展開する。</p> <p>●ふるさと新和会への参加等により、新和出身者との人脈を広げ、新和町の活性化につなげる。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ○民泊事業の推進 ○移住定住事業の推進（空き家の活用） ○子どもの学びの場の提供 ○公民館講座の開催 ○広報活動（情報発信） 	<ul style="list-style-type: none"> ●新和ふるさと民泊の会と連携し、民泊受入世帯を増やし、一般旅行者の受け入れを強化する。 ●空き家バンクの登録勧奨 ●移住定住者の相談等の支援を行う拠点づくり ●新和地域の自然や人材等を活かした新和小・中学校の地域学校協働活動を積極的に支援する。 ●公民館講座（全体講座、地域講座）を年間10回以上開催する。 ●定期的に広報紙を発行するとともに、イベントや旬の話題等を月2回以上ホームページに掲載する。
<p>④地域住民自らが守り続けるまちづくり</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の生きがいづくり・見守り ○環境美化活動の推進 ○地域公共交通の充実（乗合タクシーの利用促進） ○交通安全・防犯啓発活動 ○防災の意識付け（自主防災組織の育成） 	<ul style="list-style-type: none"> ●敬老会や各種教室など、高齢者が参加したくなる内容の事業を実施する。また、高齢者世帯に対する見守り活動を行う。 ●花いっぱい運動を推進して地域の花壇を適正に管理するとともに、河川や海岸等の清掃活動を行う。また、ゴミの不法投棄をなくす取り組みを推進し、きれいなまちづくりを目指す。 ●A I オンデマンド乗合タクシー利用者への助成を行い、利用促進を図る。 ●関係団体と連携し、交通安全啓発活動や防犯見守りを行う。 ●行政、地域、消防団が連携して一斉避難訓練を実施するとともに、各自主防災組織の自主訓練を促す。

<p>○官民協働による公共施設の維持管理</p>	<p>●地区振興会、行政区と協働し、道路、地区グラウンドなどの公共施設の草刈り等維持管理を行う。</p>
--------------------------	--

3.2 (3.1) の取り組みによって解決が期待される課題

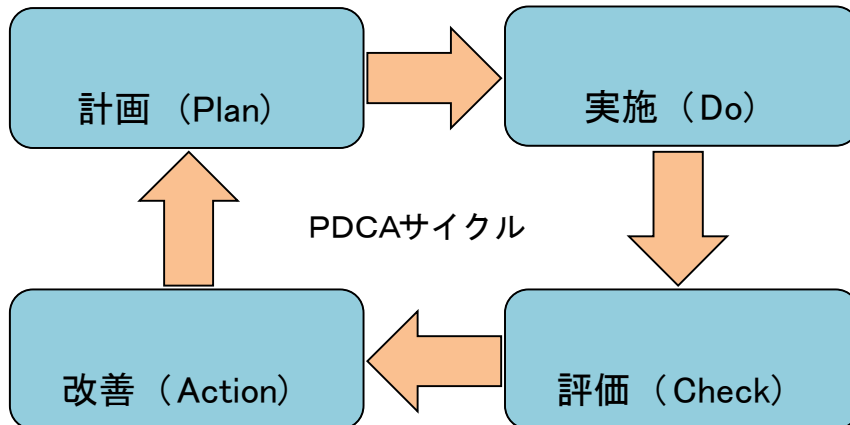
- ①ゆたかな生活を創造するまちづくりによって、課題である耕作放棄地の活用、第1次産業の活性化が図られる。
理由：安定した供給先が期待でき、計画的な芋栽培に取り組める。
- ②地域の特性を活かすまちづくりによって、課題である新和町の知名度アップ、交流人口の拡大、伝統文化の継承が図られる。
理由：地域資源を活用し、特色ある官民協働のまちづくりに取り組むことにより、地域に活気と賑わいが創出される。
- ③誰もが住み続けたいと思えるようなまちづくりによって、課題である地域活力の低下が解決される。
理由：まちづくり活動に地域が一体となって取り組み地域課題を解決することにより、子どもから高齢者まで生き生きと暮らすことができる。
- ④地域住民自らが守り続けるまちづくりによって、課題である地域のつながり・支え合いの強化、生活環境の保全が図られる。
理由：住民同士の親睦が深まり、互いに見守り助け合う気持ちが醸成される。

4 計画の推進体制

本計画の推進体制については、新和まちづくり協議会を中心に関係団体及び行政と連携し推進するとともに、進捗状況及び目標の達成度等を年度毎に把握・評価を行い、地域情勢及び社会情勢の変化等も勘案し、必要に応じて計画の内容の見直しを行います。

その手法として、計画（Plan）、実施（Do）、評価（Check）、改善（Action）を繰り返すPDCAサイクルを用いて、継続的に計画を改善していきます。

図8 天草市新和地域まちづくり計画の評価・見直し(PDCAサイクル)



4.1 実施

本計画に基づく施策の実施にあたっては、各実施主体を中心に新和まちづくり協議会、関係団体及び行政と連携し実施します。また、必要に応じて専門部会を設置し施策の推進を図ります。

4.2 評価・改善

本計画に基づく施策の実施状況等については、毎年度1回以上新和まちづくり協議会で評価を行うとともに、社会環境・地域環境の変化等も勘案し、必要に応じて計画の内容を見直します。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)	20.3	
人口(人)	総人口	1054
	15歳未満	103
	15～64歳	454
	65歳以上	497
高齢化率(%)	47.2	
就業人口(人)	第1次産業	77
	第2次産業	97
	第3次産業	314
世帯数(世帯)	総世帯数	427
	高齢単身者	80
行政区数(区)	8	
学校	新和小学校、新和中学校	
文化財・史跡	小宮地城跡、越城跡、赤城跡、ガワツパの証文、銭持墓、愛宕様、西福寺、明栄寺 木場の船付場、合志公園、清流橋碑(石橋)など	
その他地域資源	大杉溜池、昭和溜池、小宮地新田、松原土手の桜並木、十五社宮の桜、はまぼうの群生地、楊貴妃像、ひだまりの里、宮地浦湾仕切り網漁体験	
地域伝統芸能	虫追い祭り、新和土搗き音頭	
地域づくり団体	菜の花デンチャーズ	
地区のいいところ・自慢できるところ		
①自然豊か(海・山・川に囲まれている 虫が見れる 星がきれい) ②新和の中心(病院・小中学校・支所がある) ③人と人との繋がりがあがる(地区ごとにまとまりがあつて、近所付き合いがある) ④元気な高齢者が多い ⑤伝統的な祭りや神社の祭りが受け継がれている ⑥犯罪が少ない		
地区が抱える課題・困っていること		
①少子高齢化・人口減少 ②仕事や働く場所が限られている ③耕作放棄地や空き家の増加 ④公共交通が不便 ⑤イノシシ・タヌキなどの被害が多い ⑥インターネットが未整備(ケーブルTVにより普及しつつある) ⑦子どもの遊び場が限られている		



←(宮地浦湾
仕切り網漁体験)



→(一番福)

◆◆◆ まちづくりの目標 ◆◆◆

テ ー マ	生きがいと活力のある、住みよい小宮地づくり
考 え 方	本地区の基幹産業である農業の活性化策を図りながら、地域の資源、文化、伝統を活用した交流事業を展開し、地域の活力を高めるとともに、地産地消と地域経済の活性化を目的とした加工品の販売や特産品の開発を推進し、地域の住民が共に健康で安心して暮らせる環境づくりに取り組んでいく

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> ・働く場を求め労働人口が市外に流出 ・高校を卒業したら、市外に出てしまう ・大型店舗もなく、商店、飲食店も少ない ・広大な農地があるが、耕作放棄地も多い ・イノシシ、タヌキ等の被害が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の基幹産業である農業を活性化するために、耕作放棄地の活用や集落営農への協力 ・後継者となる若者の定住活動を推進する ●耕作放棄地の活用 ●若者の定住活動の推進
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・虫が多い ・伝統的な祭り(虫追い祭り)の文化がある ・仕切り網漁体験ができる ・観光施設が少ない ・文化財、史跡はあるが未整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の伝統を継承するため、小中学校と連携し、次世代への継承を図っていく ・地域の行事や地域にある歴史や文化の理解を深め、情報発信に取り組む ●後継者の育成 ●地域行事等の情報発信
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が減り、若者が少なく高齢者が多い ・元気な高齢者が多い ・老人会に入らない人が増えてきた ・空き家、単身者が増えた ・小中学生が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の交流・親睦を深めるため、地域住民が誰でも参加できるような事業に取り組む ・高齢者が健康で安心して生活できるような生きがいつくりの場を提供する ・若者同士の交流の場を増やし、若者が住みやすい環境を作る ●各種スポーツイベント事業の実施 ●高齢者の生きがいつくりの場づくり ●若者同士・若者と高齢者の交流の場・環境づくり ●地区ごと、年齢ごとの行事(グランドゴルフ・子ども会行事など)の実施
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校がある ・子どもの遊び場が限られている ・若い人が少ない ・小中学生が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生きがいつくりとして、次世代へ伝承の場を広げる(昔遊び) ・青少年の育成を兼ねた学習の場を提供する ●講演会・学習会
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・病院がある ・医療と福祉を一本化した福祉ゾーンがある ・高齢化が進み、一人暮らしの方も増加 ・高齢者の移動手段が不便 ・高齢者が元気 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が健康で安心して生活できるように見守り活動への協力 ●高齢者の見守り協力(友愛訪問)
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪が少なく、自主防災組織がある ・商店・郵便ポストが少なく、店舗まで遠い ・空き家が多く、街灯も少ない ・インターネット環境が未整備 ・交通機関が少ないため、車がないと困る 	<ul style="list-style-type: none"> ・県道の景観保全活動の維持(ひだまりの花畑) ・各地区の自主防災活動の推進 ・巡回バスに代わるオンデマンド型タクシーの推進 ●自然環境の保全・維持活動 ●景観形成の推進
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の増加 ・若い人が少ない ・振興会を知らない人が増えている ・振興会の部会と行事の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンク事業の推進 ・一定期間の居住できる住環境推進 ・振興会の役割について知ってもらう ●小・中学生体験学習の実施 ●SNSによる発信・振興会だよりの発行・広報誌掲載・ミツバチラジオ出演

小宮地地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考 ※関係団体
				短期					
				R8	R9	R10	R11		
B	文化財を活用した情報発信	地域資源を活用したフォトコンテストを実施 フォトスポットの紹介も行う また、小宮地の魅力を町内外へ発信できるように各種イベントにて文化財等の紹介を行う	・実施回数1回/年					振興会	
B	宮地浦仕切網漁体験	満潮時に宮地浦湾を400mもの仕切り網で封鎖し、湾内に閉じ込められた魚を、干潮時に網で捕る体験（一般向け・小学校向け）	・実施回数2回/年					振興会	地元実行委員会
C	ウォーキングイベント	フットパス等のウォーキングイベント実施に向けて検討する	・実施回数1回/年					振興会	
C	球技大会	地域住民が誰でも参加できるイベントとしてグラウンドゴルフやペタンクなどスポーツイベントを実施する	・実施回数1回/年					振興会	
C	スポーツイベン	地域資源(明栄寺など)を活用したスポーツイベントを実施していく	・実施回数1回/年					振興会	
C	楊貴妃祭出店	楊貴妃祭りをはじめ町内の各種イベントでのバザー出店(千本くじ・揚げたこ焼きなど)を行う	・実施回数1回/年					振興会	
C	新和まちづくり活動ポイント事業	新和町づくり協議会と連同し振興会事業での活用を推進する	・実施回数10回/年					振興会	
D	男の料理教室	男性が楽しく料理ができるようにと開催 各地区の女性部長がスタッフとして従事する 調理内容は参加者の要望を取り入れながら行う 1回は国際交流のため韓国料理を取り入れる	・参加者数10人/回					振興会	天草市政策企画課(国際交流推進員)

D	女性のための学習会・交流会	女性の活動機会を増やすため、生涯学習や研修会などを公民館・包括支援センターと共に取り組む また、女性同士が気軽に集まれる交流の場づくりを行う	・実施回数2回以上/年						振興会	新和町公民館・地域包括支援センター
E	高齢者の見守り(友愛訪問)	高齢者が健康で安心して生活できるように独居老人宅への訪問をシニア部会が主体となって実施する	・1回/月						振興会	
F	ひだまりの花畑	休耕田を活用した、県道沿いの景観保全活動の一環として地域の農業団体と連同し草払い・耕起・コスモスの種まきを行う	・種まき2回/年						振興会	地域農業団体(小宮地地区活動組織)
H	組織運営	部会長会議を開催し、振興会行事や各部会間の連絡調整、並びに組織体制の見直しを行う 住民アンケート調査を実施する 各部会を開催し、担当行事の進行管理を行う	・アンケート調査の実施 1回/年 ・各議会の開催 数回/年						振興会	
H	広報活動	振興会だよりを年2回発行し、天草Webの駅に活動内容を随分掲載していく イベント時はLineを利用して、参加者を募集している	・実施回数10回/年						振興会	
H	ワークショップ	小中学生向けに振興会や小宮地に関するワークショップを実施する例)はまぼう観察週間などで小宮地地区振興会の時間を作ってもらう	・実施回数1回/年						振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

小宮地地区振興計画 行動計画

②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考※ 共同組織
				短期					
				R8	R9	R10	R11		
F	防災ワークショップ	各地区自主防災活動を支援するため各地区防災組織と連動し防災ワークショップを実施する	・実施回数1回/年					振興会	各地区 防災組織
F	防災講話	天草市一斉避難訓練終了後、防災についての講座を開催していく	・実施回数1回/年					振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)		3.9
人口(人)	総人口	183
	15歳未満	10
	15～64歳	68
	65歳以上	105
高齢化率(%)		57.4
就業人口(人)	第1次産業	17
	第2次産業	27
	第3次産業	62
世帯数(世帯)	総世帯数	76
	高齢単身者	16
行政区数(区)		2
学校		-
文化財・史跡		<ul style="list-style-type: none"> ・立の八大龍王 ・竜の穴 ・寺子屋跡
その他地域資源		<ul style="list-style-type: none"> ・竜洞山 ・みどりの村 ・立海水浴場 ・天草仏舎利塔 ・楊貴妃像
地域伝統芸能		-
地域づくり団体		-
地区のいいところ・自慢できるところ		
<p>宮南地区は、新和町の最南端に位置しほとんどが八代海に面している。気候は温暖で風光明媚な地区である。</p> <p>また、竜洞山展望所を有し、ここからの眺めは絶景である。その他に緑の村キャンプ場や立海水浴場があり、夏場は宮南地区の自然を満喫する観光客で賑わう。</p> <p>さらに、天草唯一の酒造会社「天草酒造」、KANPAI AMAKUSAが立地し、地元天草の焼酎を発信する拠点として、また、町外の方との交流の場となっている。</p>		
地区が抱える課題・困っていること		
<ul style="list-style-type: none"> ◇少子高齢化に伴い、活動力が低下してきている。 ◇公共交通機関が不便なため、高齢者の移動に苦労している。 ◇60歳を過ぎても、ほとんどの人が現役労働者のため、時間的余裕がない。 ◇現行の行事を維持していくのが精一杯の状況であるため、新たな活動に取り組めない。 ◇耕作放棄地の増加と害獣被害(イノシシ等)により田畑が荒れている。 		



立海水浴

竜の穴

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	健康で安心して安全に暮らせるまちづくり
考え方	地域住民がお互いに助け合いながら、健康で安心して安全に暮らせるまちづくりを目指す。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	・少子高齢化により労働力人口が減少している。農業等、第一産業も衰退している。	住民同士協力しながら耕作放棄地を活用し、地元の企業と協力して事業等を行う。 ・焼酎用芋作り
【B】 観光 ・ 文化	・高齢化が進み、スタッフの確保が難しい現状である。 ・豊かな自然資産を活かせていない。	竜洞山ウォーク参加者の増加を図りながら、写真展の開催も行い地域の良さを再発見し情報発信を行う。 ・竜洞山健康ウォーク ・写真展
【C】 地域 振興	・地域資源を活かした事業を行うことにより、住民の生きがいや、地域に誇りを持ってもらう。	他の地区とのスポーツ大会等の共同開催を検討。 ・グラウンドゴルフ大会、 ・リモート運動
【D】 教育	子供が少なく地域が衰退している。	地域住民みんなで、子どもを見守りながら、地域及び子どもたちを育てていく。
【E】 保健・医療 ・福祉	高齢者が多く自家用車(免許保有者)が少ないため、病院などへの移動手段に苦慮している。	AI乗り合いタクシーが運行になり、交通の便は多少良くなった。地域住民と高齢者が集まり、和気あいあいと交流して脳の活性化や健康増進を図りたい。 ・パソコン・パズル講座
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	多くの地域住民が地滑り等土砂災害警戒区域内に住んでいる。「高齢者世帯が増えている」	災害に対する危機管理意識を持ってもらい、自主防災組織を中心に避難訓練を行う。困っている高齢者に対して草刈り等作業の支援を行う。
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画	振興会役員の成り手不足や、次世代の地域リーダーの育成が必要である。	振興会活動に積極的に参加してもらうよう、情報発信を行う。 ○振興会だよりの発行 ○ホームページの編集

宮南地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
A	焼酎用芋作り	空畑を再活用して天草酒造の芋焼酎の原料になる芋作りを行う。	年に4t						振興会・あまくさ酒造	
B	竜洞山健康ウォーク	200名余りの参加が見込める事業であり、みどりの村と協力しながら運営を行い、健康増進や地域へ貢献を行っていく。	参加者200人						振興会、みどりの村	
B	写真展	宮南地区及び新和地区より古い写真や新しい写真なども出展してもらい、宮南地区の歴史なども知るきっかけ作りや他地区との交流活動を目的とする。	来場者数100名以上						振興会	
C	リモート運動	益城町の地域包括支援センターを主体に県内他地域の人とリモートで運動を行う。	参加者15名						振興会	
C	新和まちづくり活動ポイント事業	新和まちづくり協議会と連携し、公民館講座や振興会事業の活用を推進する。	実施回数1回/年						振興会	
C	グラウンドゴルフ大会	地域住民の親睦融和を図り、グラウンドゴルフ大会を行っていききたい。	参加者50名						振興会	
C	楊貴妃祭り出店	地区の方々と協力して楊貴妃祭りへバザー出店を行う。	実施回数1回/年						振興会	
E	パソコン・パズル教室(講座)	通いの場を作り、和気あいあいとパズルなども行いながら脳と身体を活性化し健康増進を図る。	参加者20名						振興会	
F	美化推進事業	3地区の花壇を維持しながら、訪れる人に喜んでいただきたい。	参加者30名						振興会	
F	防災訓練	災害時に備え、市の一斉避難訓練と併せて、地区自主防災組織と共同で防災訓練を行い、防災意識向上を図っていききたい。	年1回実施						振興会+防災組織	
F	資源物回収事業	アルミ缶や雑誌など資源物を一か所に集め、2か月に1回資源物回収業者に回収してもらう。	年6回以上						振興会	
H	広報活動	年2回、振興会だよりの発行を行っているが、更にHPや情報発信の機会を増やしていききたい。	年2回以上						振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積 (km ²)		8.5
人口 (人)	総人口	305
	15歳未満	19
	15～64歳	135
	65歳以上	151
高齢化率 (%)		49.5
就業人口 (人)	第1次産業	25
	第2次産業	27
	第3次産業	77
世帯数 (世帯)	総世帯数	132
	高齢単身者	32
行政区数 (区)		5
学校		
文化財・史跡	五輪の塔 大宮地川の飛び石 正現寺跡 平家城跡	
その他地域資源	大宮地川・神掛けの滝 (滝及び登山道周辺の化石や石の風化模様など) 大宮地八幡宮・大宮地天満宮 大宮地八幡宮古木大楠・天満宮ホルトの木 大宮地新田	
地域伝統芸能	大宮地獅子舞	
地域づくり団体	大宮地竹灯籠組合	
地区のいいところ・自慢できるところ		
<p>大宮地地区を東西に流れる大宮地川は、流量や規模において天草島内でも有数の河川であり、鮎や鰻、川カニ、シロウオ、アオリなど川の恵みが豊富である。また、下流では海水と淡水が交わり、スズキやボウなどの遡上も見られる。この大宮地川は、取水により新和町内のほぼ全域の水道水を賄っている。大宮地川河口部には天草市の花である国内最大級を誇る「はまぼう」の群生地があり、毎年7月から8月にかけて黄色く可憐な花を咲かせる風景は見応えがある。また、浪床地区には天草島内随一の大滝といわれる「神掛けの滝」があり、不動明王が祭られ、古くから参拝者で賑わっていた。滝への登山道では化石や風化による石の様々な模様が楽しめる。</p> <p>伝統文化面では、毎年秋に行われる大宮地八幡宮大祭での神幸行列や鳥毛振り、子ども達による長刀振りや勇壮な獅子舞が奉納され、毎年多くの観光客が訪れる。また、小さな集落毎に十五社宮祭、稻荷祭、金毘羅祭、地藏祭、山の神祭など伝統行事が継承されている。地域の活性化を図るため若い力を取り入れ、竹灯籠組合と協働している。地域の人間性については優しく、人情味の深い土地柄であることも自慢できるところである。</p>		
地区が抱える課題・困っていること		
<p>○人口減少と少子高齢化が急激に進んでおり、地区行事の存続が危ぶまれている。</p> <p>○高齢世帯が増加しており、地域で支える福祉の充実が必要となっている。</p> <p>○古来より数々の恩恵を受けてきた清流大宮地川の水質低下が懸念され、環境改善への取り組みが必要とされている。</p> <p>○自分たちの地域は、自分たちで創りあげていくという共通意識を持ってもらうための取り組みを行う必要があり、まちづくりに対する意識の向上をいかに図るかが課題である。</p>		

恵み豊かな大宮地



古式ゆかしき獅子

神掛けの滝



◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	『健康で心豊かな大宮地づくり』
考え方	大宮地地域には、代々受け継がれてきた人情味ある固い絆がある。地域において少子高齢化が進む現在、地域における支え合いを充実させ、地区民相互がふれあいを持ち、地域が健康で心豊かになる活動に取り組む。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化及び過疎化が進行し、地域活力が低下している。 ・主産業である第1次産業の後継者が減少している。 ・休耕地が増加しつつある。 ・振興会活動における自主財源の確保が課題。 	地区の環境保全に取り組むとともに、地産地消及び自主財源の確保を図る。 ○稚アユ放流
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の観光資源である「神掛けの滝」の散策ルートの開拓や「はまぼう群生地」の景観保全活動が課題となっている ・同じく貴重な地域資源を活用した体験型の観光イベントを開催し地区の活性化を図る。 	地域観光資源を有効に活用し、地域内外との交流人口の増加を図る取り組みを行う。 ○地域財産保全事業(はまぼう群生地・神掛けの滝) ○伝統行事振興事業(大宮地八幡宮大祭) ○竹灯籠オブジェ展示 ○神掛けの滝トレッキングウォーク
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化及び過疎化が進行し、地域活力が低下している。 ・高齢化が進み、行事への参加者が年々減少している。 ・地域の青少年が地域資源に触れる機会が少ない。 	魅力的な地域づくりを推進するためには、「地域を担う人づくり」「地域資源の活用」「情報の共有」が必要であり、地域の特性を生かした活動に取り組む。また、地域コミュニティの推進を図るため、住民同士が触れ合えるイベントを開催する。 ○運動会・球技大会・女性スポーツ大会などの開催 ○新和まちづくり活動ポイント事業 ○大宮地川自然体験事業
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・生きがいづくりとなる自主サークル等が少ない。 	地域住民が自己の能力向上や生活の充実を図るための生涯学習活動を推進する。 ○新和地区公民館出前講座(生涯学習推進)
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の一人世帯が増加している。 ・高齢者宅の定期的な見守りが必要となっている。 	地域における支え合いを充実させ、高齢者にとって安心して生活できる環境づくりを推進する。 ○生活福祉見守り事業
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化によりボランティア作業協力者が減少し、地域の景観維持が課題である。 ・地区の玄関口にある花壇の維持管理が課題である。 ・自主防災組織の活動活性化 ・地域住民の自助・共助の意識の向上 	地域の景観向上及び環境の改善を図るための活動に取り組む。また、非常時の災害に備え防災体制の認識を深める啓発活動に取り組む。 ○花いっぱい運動 ○避難訓練の実施
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画	<ul style="list-style-type: none"> ・振興会役員の担い手の不足が懸念されている。 ・次世代の担い手となる地域リーダーの育成が課題。 	振興会活動の情報発信を定期的に行い、地域づくりへの関心を高める取り組みを行う。 ○広報活動(情報発信)

大宮地地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
A	稚アユ放流	大宮地地区振興会と大宮地活動組織が、くまもと里海づくり協会より稚アユの一部無償提供を受け、大宮地地区子ども会と毎年4月に1700尾の稚アユ放流を行う。	毎年実施						振興会	
B	地域財産保全事業	はまぼう群生地及び神掛けの滝登山道の景観保全作業を行い、観光資源として活用を図る。	各箇所毎年実施						振興会	
B	伝統行事振興事業	毎年10月に開催される大宮地八幡宮大祭の活性化に寄与し盛況にするため、バザーを出店する。	毎年実施						振興会	
B	竹灯籠オブジェ展示	竹灯籠組合等と協力をして若い世代の地域活動の活性化を促す。	毎年実施						振興会 ＋ 竹灯籠組合	
B	神掛けの滝トレッキングウォーク	神掛けの滝と史跡を散策しながら、健康づくりと地域の活性化を目的にウォークラリーを開催する。	毎年実施						振興会	
C	球技大会	地区住民参加の事業として、住民相互が触れ合う機会をつくるグラウンドゴルフなどの大会を行う。	毎年実施						振興会	
C	運動会	地区住民参加の事業として、住民相互が触れ合う機会づくりとして運動会を行う。	隔年で実施						振興会	
C	女性のスポーツ	地元女性参加の交流事業としてグラウンドゴルフなどを実施する。	毎年実施						振興会	
C	まちづくり活動ポイント事業	新和まちづくり協議会と連携し振興会事業活動を推進する。	毎年実施						振興会	
C	大宮地川自然体験事業	地元子ども会と地域住民の交流事業として川遊びアユ釣り体験などを実施する。	毎年実施						振興会	
D	新和地区公民館出前講座	地区住民の生涯学習活動を推進するため、新和地区公民館と連携して地域のニーズに対応した講座を開催する。	毎年実施						振興会	
E	生活福祉見守り事業	定期的な自宅訪問により高齢者の状況把握と見守りを実施する。	毎年実施						振興会	
F	花いっぱい運動	地域住民の環境美化意識向上を図るため振興会管理の花壇に400本の花を植え管理を行う。	年間を通し実施						振興会	
F	避難訓練	地区住民の防災意識の高揚と自助共助の醸成につなげるため、毎年実施される市の一斉避難訓練に参加し、定期的に自主訓練を実施する。	毎年実施						振興会	
H	広報活動(情報発信)	振興会活動及び地区の情報紙として振興会だより「清流」を発行し、地区住民等に配布する。また、天草Wedでの情報発信を行う。	年間2回程発行						振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)	10.8	
人口(人)	総人口	734
	15歳未満	59
	15～64歳	354
	65歳以上	321
高齢化率(%)	43.7	
就業人口(人)	第1次産業	148
	第2次産業	79
	第3次産業	194
世帯数(世帯)	総世帯数	296
	高齢単身者	53
行政区数(区)	8	
学校		
文化財・史跡	如意輪観世音、馬の足跡、下大多尾城跡、麟泉宮、経塚、惣兵衛が石、天神山の支石墓群、天附の古墳群	
その他地域資源	◆漁業 漁撈、養殖【クロマグロ、アオサ、ヒオウギ貝】 ◆農業 水稻、果樹【晩柑、デコポン(不知火)】	
地域伝統行事	虫追い祭り、八百万の神々の祭祀	
地域づくり団体	咲参会、結いの会	
地区のいいところ・自慢できるところ		
<ul style="list-style-type: none"> ・温暖で海、山に面して環境的にもいい(海のレジャーを楽しめる/高地や海岸線からの眺めが美しい/漁業集落と農業集落が混在・共存する地区/海産物や柑橘を中心とした農作物が豊富) ・近所付き合いがあり、仲がいいところ ・元気な高齢者が多い 		
地区が抱える課題・困っていること		
<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化 ・災害時の避難場所(コミセン以外の避難場所の確保) ・地区全域が地滑り地帯である ・空家の老朽家屋が増加 ・耕作放棄などの遊休地や遊休した漁船の増加 ・一次産業経営者の高齢化、後継者(担い手)不足 		



◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	海・山を活かしたうるおいのある大多尾づくり
考え方	これまで、海産物や農産物という豊かな地域資源を産み出してきた“海”そして“山”には、昭和の高度成長期から現在までに減退しつつも、埋もれてきたものが数多く存在する。技術革新による省力化など労働環境も大きく変化していることから、そのようなものを蘇らせ、また、地域住民が集うことで活気を取り戻し、老若男女がうるおいや幸せを感じる地域をつくる。そのことが、少子高齢化や人口減少の歯止めになることを期待する。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化の進行。労働人口の減少。 ・第一次産業の後継者(担い手)が減少している。 ・耕作放棄の遊休地の増加。 ・遊休した漁船の増加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・限りある地域資源を把握し、活用する。 ○情報発信
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・果樹園地や海岸線からの眺望が素晴らしい。 ・鍋割山を活用したウォークを開催している。 ・景観維持のため整備を行っている。 ・各地域において虫追い祭りが開催されることによる伝統行事の継承。 ・文化財、史跡の保全。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鍋割山や果樹園地からの眺望などの地域資源を活用し、地域住民の健康促進や地域内(外)での交流を深められるよう山道などを整備し、新たなウォークコースを模索する。 ○地域散策 ○地域資源環境保全 ○郷土再発見
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化の進行。人口の減少。 ・元気な高齢者が多い。 ・集まる(話す)機会が少ない。 ・地区全体で行う「大多尾スポーツ大会」を毎年実施している(グラウンドゴルフ競技は参加者多数)。 ・各地域でスポーツ大会が実施されており、賞品代を支援している。 ・新和まちづくり活動ポイント事業の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの地区住民が参加し、交流や親睦を深めるために、老若男女問わず誰でも参加できる種目事業を模索する。 ○大多尾スポーツ大会 ○スポーツ大会の支援 ○楊貴妃祭り出店 ○新和まちづくり活動ポイント事業
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと高齢者及び地域の交流の場が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の持つ技術や知恵を活かし、子どもとのふれあいを通じて伝統文化などを継承できる事業を模索する。 ○ふれあい交流
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢世帯の増加。 ・引きこもり高齢者の増加。 ・高齢者の移動手段の不足。 ・老人会入会者が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が気軽に集い、交流できるような事業を模索する。 ・高齢者が集える場所にコミセンを提供。 ○福祉講座
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> ・きれいな海づくりを目指し、海岸一斉清掃を実施している。 ・地区全体で「花いっぱい運動」に取り組み、老人会も協同して市道沿線は花で溢れている。 ・自主防災組織ごとに避難訓練など行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・きれいな海づくりを目指す清掃事業や花の植栽事業を通じて、地域住民の環境意識の啓発につなげる。 ・非常時に安全に避難できる避難場所や経路の確認など自主防災組織での防災意識の啓発を図る。 ・安心安全な道路の見守り。 ○海岸一斉清掃 ○花いっぱい運動 ○災害ボランティア養成講座
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSなどで大多尾地区の情報発信を定期的に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Aマップ・Facebookなどの媒体を利用し、大多尾地区の情報発信を行っていく。

大多尾地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 4年以上		
				R8	R9	R10	R11			
B	郷土再発見	昔ながらの郷土料理や伝統技術を学び、次世代へ受け継いでいくことを目的とする。	年2回	→					振興会	
B	地域資源環境保全	ウォーキングコースの道路整備や景観維持のための清掃作業、文化財・史跡などの保全活動を行う。	年2回	→					団体 振興会	
B	地域散策	景観を活かした新たなコースづくりも検討し、地域の良さ再発見、健康づくりも意識して取り組む。その結果、観光資源としての活用を目指す。	年1回	→					振興会	
C	スポーツ大会	親睦融和のため実施する。また各 地域スポーツ大会に世帯数に応じて賞品代を支援する。	年1回	→					振興会 区	
C	大多尾スポーツ大会	年に1度、地区住民が参加するスポーツ大会を実施する。また、競技種目については、必要に応じて検討していく。	年1回	→					振興会	
C	楊貴妃祭り出店	年に一度、新和町で開催される祭りに町の一員として参加し、地区の特産をアピールする。	年1回	→					振興会	
C	伝統工芸製作	竹灯籠・イルミネーションを製作し、大晦日に神社・寺を参拝される地域住民や帰省客をもてなす。	年1回	→					振興会	
C	まちづくり活動ポイント事業	新和まちづくり協議会と連携し振興会事業活動を推進する。	毎年実施	→					まち協 振興会	
D	ふれあい交流	高齢者の持つ技術や知恵を活かし、子どもと交流活動を目的とする。	年1回	→					振興会	
F	災害ボランティア養成講座	地域ごとの防災意識を高めるための啓発を図りながら、自主防災組織での活動を推進していく。	年1回	→					振興会 地域防災組織	
F	花いっぱい運動	年に2度、各地域での植栽作業を行い、環境美化に努める。	年2回	→					老人クラブ 振興会	
F	海岸一斉清掃	全住民がきれいな海を目指し、海岸一斉清掃を実施する。	参加者数200人	→					区 振興会	
H	広報活動(情報発信)	振興会の活動を多くの住民にPRするため、振興会だよりを発行する。また地域の情報をSNS等で発信していく。	広報誌 年2回発行	→					振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

※「協働」とは「地域と行政との協働」、「行政」は「市」を指す。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)	6.0km ²	
人口(人)	総人口	211
	15歳未満	6
	15～64歳	71
	65歳以上	134
高齢化率(%)	63.5	
就業人口(人)	第1次産業	21
	第2次産業	17
	第3次産業	44
世帯数(世帯)	総世帯数	98
	高齢単身者	27
行政区数(区)	4区	
学校		
文化財・史跡	菅原神社 十五社宮 八十八ヶ所霊園 恵比寿神社 親崎竜神様	
その他地域資源	蛭がたくさんいる 入江公園 恵比寿様の水	
地域伝統行事	えびす祭り 鬼火焼き 御神待 バラモン凧	
地域づくり団体	ポピークラブ(シルバークラブ)	
地区のいいところ・自慢できること		
<p>高齢化率の高い地区であり、振興会発足当初から高齢者が家に閉じこもりがちにならないように、コミセンに集う環境づくりを実施してきた。／集落がまとまっているため、地区間及び人間的なまとまりがある。／漁業と農業の両方があり、お互いに協力しながら地域づくりを行っている。／自然環境が良く、ホテルの乱舞が地区のあちこちで見られる。／天草八十八ヶ所・四十五番礼所となる中田大師堂があり、山頂にかけて一周するように八十八体の地蔵尊が祀られ霊園となっている。／地域内で漁業と農業の両方が営まれている。／海と山に恵まれ、漁業と農業が共存している。／正月の「鬼火焼き」や年末の「御神待」など、古くからの伝統行事が今も受け継がれており、地域の絆と文化を守っている。</p>		
地区が抱える課題・困っていること		
<p>少子高齢化による人口減少 地区の行事や活動の継続が困難になりつつある。／事業参加者の固定化 一部の住民に負担が偏り、地域全体での取り組みになりにくい。／役員のなり手不足 地区振興会や各種団体で、役員を引き受ける人材が不足している。／第一次産業の衰退と後継者不足 漁業・農業など地域の基幹産業を担う若手人材が不足し、継続が危ぶまれている。／災害の種類によって避難場所が限定されており、特に津波時の避難場所は照明設備などが不十分。また、大雨・津波以外の災害時には地区内に適切な避難場所がない。／買い物環境の不便さ 地区内に商店が1か所しかなく、品揃えが十分でない移動販売や他地区への移動が必要。／荒廃農地の増加 耕作放棄地が増え、景観や農業資源の維持に課題がある。／空き家の増加 利用されていない住宅が増え、防災・防犯・景観面での懸念がある。／有害鳥獣(特にイノシシ)による被害 農作物への被害が深刻化しており、対策が求められている。</p>		

八十八ヶ所ウオー



入江公園

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	心豊かに、安心して暮らせる地域づくり
考え方	住民一人ひとりが主役となり、地域の自然・文化・人のつながりを活かしながら、美しさ・豊かさ・活気・安心・心の充足を備えた持続可能な地域づくりを目指す。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> ・農地の荒廃が進行 一部の農業保全団体によって整備された農地は景観が保たれているが、未整備の農地では荒廃が進んでいる。 ・高齢化による後継者不足 農業・漁業などの第一次産業を担う若手人材が不足し、知識や技術の継承が危ぶまれている。 ・主な産業が存在せず、地域経済が停滞 地域を支える基幹産業が乏しく、経済的な活力が低下している。 ・新たな産業創出の見通しが立たない 地理的・人口的な制約から、新規産業の誘致や創出が難しく、将来的な展望が描きにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・荒廃農地・空き家の再生 耕作希望者への情報提供や農業関係保全団体との連携により、荒廃農地等の抑制を図る。 ・後継者の確保と技術継承の支援 高齢化による後継者不足に対応し、外部人材や移住者との連携による担い手づくりや技術継承の仕組みづくりを推進する。 ・移住者や帰郷者への情報提供 インターネット等の配信により、地区内の居住者を増加させる。 ・高齢者主体でも可能な産業モデルの導入 高齢者が中心となる地域でも取り組みやすい、省力化・簡易化された農業・漁業を考案し、地域内経済を活性化する。
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・中田大師堂と八十八ヶ所霊場の保全活動 住民の高齢化により維持管理が困難となっているが、地区振興会が「ウォーク大会」と連携し、保全活動を継続している。 ・文化財めぐりによる郷土愛の醸成 地域の歴史・文化を学びながら、住民の郷土意識を高める事業を実施している。 ・鬼火焼きや神事などの伝統行事の継承 正月の鬼火焼きなど、地域に根付いた行事が今も続けられている。 ・維持管理の担い手不足 霊場や文化財の保全活動が高齢者中心となっており、継承が困難である。 ・伝統行事の参加者減少と高齢化 鬼火焼きなどの行事も担い手が固定化され、若い世代の参加が少ない。 ・観光資源としての活用が限定的 地域外への発信や観光誘導が十分でなく、文化の魅力が広く伝わっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化資源の保全と活用 中田大師堂や八十八ヶ所霊場の維持を、ウォーク大会などの地域行事と連携して継続し、文化財めぐりや体験型イベントを通じて、地域の魅力を発信する。 ・伝統行事の継承支援 鬼火焼き・バラモン凧あげ大会や神事などの伝統行事を、若い世代や外部参加者と共に守る仕組みづくり及び観光資源としての活用も考慮する。 ・担い手の多様化と協働体制の構築 高齢者だけでなく、移住者・ボランティア・地域外の支援者との連携を強化し、「できる人ができることを」支え合う柔軟な文化財の保全活動体制を構築する。 ・活動ポイント事業及び抽選会事業等の活用 文化財などの保全や整備を行う場合の地域外からの支援者の参加を促進する。 ・観光資源としての磨き上げと発信 地域文化を観光コンテンツとして再構築し、広域連携やSNS等で情報発信及び地域内外の交流を促進し、経済的・文化的な活力を生み出す。
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・人口構成の偏り 顕著な高齢化と若年層の不在により、地域づくりの担い手が限られている。高齢者中心の活動が続く中、若い世代の不在により継承が難しい。 ・事業参加者の固定化 活動に関わる地区住民に限られており、新たな参加者の獲得が難しい状況。人口減少や高齢化により、地域全体の活力が失われつつある。 ・地域行事の継続と団結力 「中田夏祭り」は住民が協力して運営する地区の一大イベントであり、地域の誇りと高揚感を生み出している。 ・活動ポイント事業及び抽選会事業 振興会及びまちづくり協議会の各種事業への参加推進を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手不足への対応と活動の継承支援 高齢者中心の地域に配慮し、無理のない役割分担と外部連携によって事業の継続性を確保するための助成を検討する。 ・住民参加の促進と地域活力の維持 参加しやすい行事や活動を企画し、固定化を防ぎながら地域のつながりと活気を保つ。 ・地域の誇りを育む行事の継続と発展 「中田夏祭り」など住民が一体となる行事を核に、地域の絆と高揚感を育てる。 ・広報力の強化と情報発信の充実 SNSや振興会だよりを活用し、活動内容や地域の魅力を内外に発信することで共感と協力を広げていく。

<p>【D】 教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館講座の開催 地域住民を対象に、健康・趣味・生活支援などをテーマとした講座が継続的に実施されている。 ・高齢者向けの活動が充実 シルバークラブ(ポピークラブ)など新たな集いの場も誕生し、コミセンを活用した健康づくりやパソコン教室など交流活動が盛んになった。 ・地域文化・歴史を学ぶ機会の提供 文化財めぐりや伝統行事の参加を通じて、郷土愛を育む教育的な取り組みが行われている。 ・講座や防災教育の参加層の偏り 高齢者中心の参加が多く、若年層や働き世代の参加が少ない。 ・教育内容の偏りと限界 講座の内容が限られており、地域課題(防災・福祉・産業継承など)に直結する学びの機会が不足している。 継続的な運営体制の不安 講師や運営スタッフの確保が難しく、活動の継続性に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生涯学習と交流の場の充実 高齢者が心身ともに健康で、地域とつながりながら暮らせるよう、健康・趣味・生活支援などをテーマにした学びの場を継続・拡充する。 ・地域文化・歴史の継承を担う教育活動の推進 伝統行事や文化財を学び・守る活動を通じて、地域の誇りと郷土愛を育み、記録・映像化・教育活動などによる継承方法を工夫し、次世代への継承を支える。 ・住民主体による教育活動の運営支援 講座やクラブ活動の企画・運営に住民が関わり、無理なく継続できる体制を整えることで、地域力の維持につなげる。 ・外部との連携による教育の多様化と質の向上 専門家・地域団体・移住者などとの協働により、講座内容の幅を広げ、地域に新しい視点と刺激をもたらす。 ・地域資源を活かした体験型・参加型の学びの推進 霊場巡り、伝統行事、自然体験などを教育活動に取り入れ、地域の魅力を再発見しながら、住民の生きがいづくりにつなげる。
<p>【E】 保健・医療 ・福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者世帯の増加 地域全体で高齢者の割合が高まり、単身または高齢者のみの世帯が増えている。 ・健康づくり活動の活発化 コミュニティセンター(コミセン)を活用し、健康維持・交流を目的とした団体活動が行われている。 ・シルバークラブ(ポピークラブ)の発足 高齢者が気軽に集える新たな交流の場が生まれ、地域内のつながりづくりに貢献している。 ・高齢者支援の体制強化が必要 高齢者のみの世帯が増える中、見守りや生活支援の仕組みが求められている。 ・活動の担い手の偏り 健康づくりや交流活動は活発だが、参加者が限られており、広がり課題がある。 ・持続可能な運営への不安 新たなクラブや団体の継続には、運営支援や若い世代との連携が必要だが現状では不在である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の見守り・支援体制の強化 単身・高齢者世帯の増加に対応し、地域ぐるみでの見守り活動や生活支援を充実する。 ・コミセンを活用した健康・交流活動の推進 既存団体の活動支援と、新たなクラブ(ポピークラブなど)の定着・発展を図る。 ・高齢者の生活支援と健康維持を目的とした講座の充実 介護予防・健康づくり・生活安全など、身近で役立つ内容を中心に展開する。 ・多世代交流の促進 若い世代や地域外の人材との交流機会を増やし、活動の担い手を広げる。 ・活動の継続性と運営支援 団体運営の負担軽減や、行政・地域団体との連携による支援体制を整備する。 ・地域資源としての高齢者の活用 経験・知識・技術を地域活動や教育に活かし、地域の力として再評価する。
<p>【F】 生活環境 ・ 防犯防災</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活かした安心・安全な暮らし 自然環境や地域資源を活かした暮らしが根付いて、地域協働による環境整備が行われている。 ・高齢化により交通弱者が増加 移動や通院、買い物に不便を感じる世帯が多い。また、商店は1ヶ所のみで品揃えに限りがあり、移動販売店舗も廃止された。 ・避難場所の環境整備 地震・津波等の避難場所の管理と必要な機材・設備が求められている。(避難場所の整備・照明設備など) ・災害時の対応能力の不足 災害時の避難場所が大雨災害及び津波災害対応のみでその他災害には対応していない。また災害時における支援体制の周知が十分ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で快適な生活環境の整備 地域の自然・文化を活かしながら、防犯・環境美化活動を継続する。 ・移動・買い物支援の充実 オンデマンド乗合タクシー等の公共交通の利用促進のための助成制度や買い物支援の仕組みを整え、高齢者の生活利便性を向上させる。 ・災害対応力の強化 避難場所の多様化と整備・安心できる暮らしの環境整備(避難場所の整備・照明設備などを要請)、災害対応力の強化を進め、複合災害にも対応できる体制を構築する。 ・防災情報の周知と訓練の推進 支援体制や避難方法の情報発信を強化し、住民の防災意識と行動力を高める。
<p>【G】 都市基盤整備</p>		

<p>【H】 総務・企画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地区振興会の事業運営 住民主体で各種事業が継続されているが、財源確保には課題がある。ふるさと応援交付金などを活用しながら運営を維持している。 ・地区振興会は住民主体で運営交付金や広報活動(SNS・振興会だより)も活用中であり、また新たな行事企画や他団体との連携も進められている。 財源の安定確保と運営規律の強化 交付金や協賛による財源確保と健全な運営体制の構築を進め、新たな財源として住民一体となってふるさと応援交付金の推進活動を行っている。 ・住民参加の広がりや活動の継続性に課題 高齢者中心で活動意欲が低い、各種行事等の参加及び文化継承への意識付けが必要また住民が参加しやすい行事の企画と継続支援を検討すべきである。 ・地域の情報を発信 他団体との連携強化と広報手段の多様化による地域の魅力を発信する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な財源確保 ふるさと応援交付金や協賛・寄付など多様な財源を活用するとともに、財源確保に努め、振興会の安定運営を図る。 ・健全な運営体制の確立 運営規律の強化により、安定した振興会の運営を図る。 ・他団体との連携強化 地域内外の団体と協力し、活動の幅と支援体制を広げる。 ・住民参加の促進と行事の創出 高齢者中心の地域に配慮した、誰もが参加しやすい新たな行事を企画・実施する。 ・広報力の向上と情報発信の充実 SNSや振興会だよりを活用し、地域の活動や魅力を積極的かつ効果的に地域内外へ発信する。
----------------------	---	--

中田地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考	
				短期				長期 4年以上			
				R8	R9	R10	R11				
B	鬼火焼き	伝統行事の伝承と地域住民の親睦の場として、継続して実施する。年1回、入江公園で鬼火焼きを実施し、参加者60名が目標。今後も伝統行事として継続する。	参加者60名以上							振興会	
B	伝統芸能・文化財の保全活動	地区内の文化財の看板等を含む保全活動を実施する。 ※令和元年看板立て直し作業実施する。	年に1箇所以上							振興会	
B	八十八ヶ所ウオーク	文化財を巡るウオークが実施する。文化財保全への理解と周辺の整備や景観管理活動にもつながる。	参加者60名以上							振興会	
C	新和まちづくり活動ポイント事業及び抽選会事業	振興会及び新和まちづくり協議会の各種事業への参加推進を図っている。また電子マネー通貨である「天草のさりー」の普及と地産地消の推進を図る。	特に設定しない							協働	
C	お花見交流会	H30年から春の行事として、中田入江公園に咲く桜の下で地区住民とお花見しながら親睦を深める。なお、八十八ヶ所ウオークと同日開催する。	参加者60名以上							振興会	
C	中田夏祭り	毎年8月14日開催予定。中田に帰省した方を含め、手づくりによる交流イベントとして実施。600名の集客を目標。地区内外との交流の場として、これまでどおり継続し実施する。交流人口の増加を図るため、ステージイベント内容の充実やを図るとともに大餅投げ大会を実施する。	来場者数600名以上							振興会	
C	グラウンドゴルフ大会	年1回実施し、参加者70名が目標。生涯スポーツを通じて、地域住民の健康づくりを行うため、これまでどおり継続し実施する。	参加者70名以上							振興会	
C	中田地区交流会	隔年で実施し、地域住民の4割の参加が目標。若者から高齢者まで誰でも参加できる競技を通じ、地域住民の親睦と融和を図る。	参加者70名以上							振興会	
C	中田碓石地区合同球技大会	隔年で中田、碓石地区振興会が交互に主管し開催する。中田・碓石地区の交流と学舎への思い出を忍ぶため、これまでどおり継続し実施する。	参加者70名以上							振興会	
C	女性の交流会	女性のための交流会(グラウンドゴルフ大会など)を実施。大会後の反省会で、今後の交流会の内容などを検討してもらい、女性の交流の場を充実させる。その中で寄せられた様々な意見などを振興会活動の参考としたい。	参加者30名以上							振興会	
C	しんわ楊貴妃祭り出店	年に一度、新和町で開催されるしんわ楊貴妃祭りにバザー出店を行う	年1回実施							振興会	

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期			長期			
				R8	R9	R10	R11	5年以上		
D	公民館講座の推進	通いの場の団体・シルバークラブ等の要望に沿った各種公民館講座を案内し実施する。高齢者の交流の場を考えていく。	年1回以上実施						振興会	
E	新和町敬老会	高齢者の長寿を祝い、感謝の意を表すことを目的に開催します。式典、幼児・児童・生徒との交流や演芸などを通じて地域とのつながりを深め、心豊かな時間を提供します。	年1回実施						協働	
E	介護予防教室	高齢者の増加に伴い、安心して生活できる見守り体制の構築支援と、地区全体で年1回の介護予防・福祉関連の研修を開催する。	年1回介護予防教室実施						振興会	
E	シルバークラブに対する助成事業	地区振興会との連携を通じて地域福祉の向上に寄与し高齢者の交流や健康維持を促進するため、活動資金として助成金の交付する。	活動事業実績に応じて助成						振興会	
F	入江公園環境整備事業	住民の憩いの場である入江公園の維持管理を継続して実施する。内容は年3回程度の草払いなど	作業参加者20名以上						振興会	
F	オンデマンド乗合タクシー利用に対する助成制度	交通弱者の通院及び買い物等の経済支援の仕組みを整え、高齢者等の地域の交通利便性及び社会的包摂の向上を目指す。	助成対象者60名						振興会	
F	資源物回収活動	月2回アルミ缶を回収し、年6回業者へ販売する。環境保全活動と資金源確保のため、継続して実施する。	月2回の回収を実施						振興会	
F	地域福祉ネットワークづくり	住民が心豊かに生活するため、災害・地域福祉ネットワーク活動を支援する。自主訓練を行う場合は、関連機関と訓練内容の調整・支援を行い、避難場所の管理・運営については住民の意見集約を行う。	年1回実施						協働	
H	ふるさと応援交付金の推進事業	地区の住民が親族や友人・知人を対象としてふるさと納税を縁故の力で依頼し、セールスを行い地区振興会の運営資金としての財源を確保する。	特に設定しない						振興会	
H	他団体との連携	天草市地区内(新和地区含む)の他団体との連携を図る。新和まちづくり協議会の事業及び公民館事業への協力。コミュニティセンターの指定管理を行います。	特に設定しない						協働	
H	広報活動(情報発信)	振興会活動・地区の情報紙として振興会だよりを年2回発行する。また、天草Webの駅にイベント等の情報発信を随時行う。	広報紙年2回発行						振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

※「協働」とは「地域と行政との協働」、「行政」は「市」を指す。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)	5.7	
人口(人)	総人口	202
	15歳未満	11
	15～64歳	89
	65歳以上	102
高齢化率(%)	50.5	
就業人口(人)	第1次産業	61
	第2次産業	23
	第3次産業	54
世帯数(世帯)	総世帯数	77
	高齢者のみ	22
行政区数(区)	2	
学校	なし	
文化財・史跡	<ul style="list-style-type: none"> ・ 阿弥陀本尊跡 ・ 黒蔵菩薩 ・ 中野猛雄 氏 ・ 碓石 ・ 経塚 ・ 正教寺 ・ 水神様 ・ 保食神 	
その他地域資源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大淵 ・ 延命地藏 ・ お大師様 ・ 亀ヶ淵 ・ 碓石神社 ・ 天草ゆ楽園 ・ 金比羅宮公園 ・ 金比羅宮 	
地域伝統芸能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 碓石讃歌 ・ 山の神奉納相撲 	
地域づくり団体	碓石自治会、きばろ一隊、ひま陣会、スポーツクラブ、ドローン碓石、子ども会	
地区のいいところ・自慢できるところ		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然が豊かで静かな町。 ・ 食事処や温泉がある。 ・ 地域内に協力体制がある。 ・ 伝統のふるさと祭りを大事にしている。 ・ 住民の顔がわかる。 ・ 子供会の行事の充実。 ・ 荒廃地を利用して焼酎原料のいも栽培を行っている。 ・ 炭の生産を行っている。 ・ 土着菌と土着菌堆肥の製造販売。 ・ 土着菌を活用した安心安全な野菜作りに取り組んでいる。 		
地区が抱える課題・困っていること		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化と高齢者世帯の増加。 ・ 独居世帯増加。 ・ 空き家の増加。 ・ 子供の遊び場がない。 ・ 道路拡張工事が進んでいないところがある。 ・ 買い物処が遠い。 ・ 産業がない。 ・ 農業の衰退、農地の荒廃と後継者不足。 ・ 害獣被害がある。 ・ 地域施設の管理。 		



◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	質にこだわる元気な碓石づくり
考え方	住民自治の強化と組織力の向上を図り、住民主体のまちづくりを推進し、住民自治による民主的で明るく元気なまちづくりに取り組みます。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	地区の主力産業である一次産業(農業・林業)の担い手の減少や高齢化が顕著に進んでいる。また、農地や山林の荒廃も進み地域全体で取り組む必要がある。	○住民が参加できる産業づくり ・高齢者が取組める農作物の研究を実施する ・安心安全な野菜づくりの実施する。 ・振興会の自立に向けた活動資金作りを目指し、碓石地域の特性を活かした産業づくり。
【B】 観光 ・ 文化	・地区内外に向けてイベント(ふるさと祭り)を開催している。運営人数が減少し組織の見直しが必要。 ・民泊業を営む家庭がある。 ・景観整備のため事業を行っている。(河川・花壇・さくら・グラウンド等の美化活動)	○伝統と景観を生かしたまちづくり ・伝統を受け継いだ事業の実施する。 ・地域の景観整備事業を実施する。
【C】 地域 振興	・地域間、地区内の交流を目的に事業を実施している(夏祭り、スポーツ大会、鬼火焼き等) ・古くから自治組織(自治会)があり、協力体制や団結力がある。	○地域で協力するまちづくり ・自治会その他地区の団体と協力して事業を実施する。 ・地域間交流(新和町内)、帰省客との交流の実施。
【D】 教育	・子どもたちの生きる力、郷土愛を育むため、自然体験(炭焼き体験、河川の美化活動、竹あんどんつくりなど)、を実施している。 ・子供たちの教養を高めるため書道教室を実施実施している。	○子どもたちの生きる力や郷土愛を育むまちづくり ・子供会等地区内各種団体と協力しながら実施する。
【E】 保健・医療 ・福祉	・高齢者の長寿を祝うため、新和地区の敬老会参加、古希・米寿祝い粗品進呈を碓石ふるさと祭り式典で実施。 ・子どもと高齢者の交流のため、毎年事業を検討実施している。 ・高齢者がいつまでも元気に暮らせるよう、100歳体操を開催している。	○いつまでも暮らせるまちづくり ・子どもと高齢者の交流事業を実施する。 ・高齢者が生きがいを持って元気に暮らすための事業の実施する。
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	・地域住民の顔がわかる。 ・非常時の避難体制の確立が必要。 ・河川美化作業。 ・土着菌堆肥を利用した安心安全な野菜づくり。	○自然と安全を守るまちづくり ・地域ボランティアグループと協力しながら自然環境の保全事業を行っていく。 ・非常時に円滑な避難できるよう区と協力し避難訓練を実施する。
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画	・広報活動(情報発信)振興会だよりの発行。	○碓石地区の情報発信 ・新和まちづくり協議会事及び公民館事業連携・協力を図りながら、コミュニティセンターの指定管理事業を行う。

第6期 碓石地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期 5年以上		
				R8	R9	R10	R11			
A	土着菌・土着菌堆肥製造	土着菌を堆肥に混ぜ合わせたものを製造販売している。	土着菌1t 土着菌堆肥5t	→					振興会	
A	焼酎原料芋つくり	農地の荒廃地対策として焼酎原料の芋作りを実施している。軌道に乗れば他団体に引き渡し、将来にわたって荒廃地対策を酒造会社と協力して行っていく。	栽培面積 30a 収穫量 5t	→					振興会	
A	土着菌堆肥を利用した野菜作り	毎年、『碓石ふるさと祭り』の収穫祭用に大根を栽培している。	大根をメインとして、他の野菜も試験的に栽培する。	→					振興会	
B	子ども樽みこし	10月の秋祭り時に、子ども会中心になって樽みこしと御神楽を舞い、地域内を練り歩く。子どもの減少が危惧される。	毎年10月に実施する。	→					子供会	
B	鬼火焼き	地区の子ども会が中心となって鬼火焼きを実施している。	地域広報紙などによる周知活動を実施する。	→					振興会	
C	碓石ふるさと祭り	碓石地区の子ども相撲や野菜収穫祭などのイベントで集客力を増やしている。	地域住民が、誇りを持って自主的に参画し、運営できるように体制の構築を図る。	→					ふるさと祭り実行委員会	
C	農産物品評会	年に一回、地域住民が作った野菜や加工品等の品評会を実施している。品評会に出された品物は、ふるさと祭りにて販売している。	各戸からの出品物を1品以上募る。	→					ふるさと祭り実行委員会	
C	夏祭り	帰省客、地区住民の交流を目的に夏祭りを開催。出店、抽選会、花火などを行っている。	地域人口の半分以上参加してもらえるように、企画運営を支援していく。	→					振興会 碓石スポーツクラブ	
C	合同球技大会	みんなのスポーツ大会(町主催)と中田・碓石合同球技大会を交互に年間ごと実施。地域間交流事業として開催している。	地域の元気な人が全員参加できるよう、競技内容を検討していく。	→					振興会	
C	子ども相撲・赤ちゃんの土俵入り	『碓石ふるさと祭り』でのイベントとして、子ども相撲・赤ちゃんの土俵入りを実施。	R6 赤ちゃん6人 子ども相撲20人 R7 赤ちゃん15人 子ども相撲20人 ・新和町子ども会の参加が減少しているので参加を募る。	→					振興会	

C	新和まちづくり活動ポイント事業	振興会が主催する活動に協力・参加したら、事業内容により指定の天草のさりのポイントを付与する。	高齢者が多いため、天草のさりを携帯電話の登録している人が少ない。楊貴妃祭り抽選会と共にポイント事業を浸透させていく。							振興会
C	しんわ楊貴妃祭り出店	振興会が栽培した土着菌堆肥使用の大根ほか野菜を販売。荒廃地を利用して栽培した芋を販売する。	6年度より開始。7年度は米、芋類の販売が順調に売れており、今後も販売量を増やしていきたい。							振興会
C	竹あんどんづくり	地区のボランティア組織『きばろ一隊』が中心となって、大晦日に碓石十五社宮や正教寺に竹灯りを提供している。	神社と寺で合計300個程度の竹あんどん作成し提供する。							きばろ一隊
D	高齢者と子どもたちの交流事業	地区の催しの中で小学生と高齢者によるグランドゴルフを実施。	年1回開催する。							振興会 老人会 子ども会
D	ふれあい書道教室	小学生を対象に夏季書道教室を開催している。	夏休み期間中に3回実施する。							振興会
E	地域福祉ネットワーク	行政区長を中心に見守りネットワークを構築している。	各区合同で講習会等実施する場合など、日程や内容の調整を振興会として支援活動をする。							行政区
E	100歳体操	地区の乙女会を中心に100歳体操を毎週金曜日に実施している。	毎週金曜日の開催を支援する。							振興会
F	環境美化作業	老人クラブや子ども会を主体に、花植え作業を実施している。	毎年春と秋に老人会で実施。秋は、子ども会と合同で実施している。							老人会 子供会
F	木炭投入作業	碓石農地水活動組織と子ども会を中心に木炭の投入し、河川の浄化と微生物の増加を目的に実施している。	毎年秋にコミセン横の河川に木炭投入を実施する。							活動組織 子供会
F	防災訓練	天草一斉避難訓練に合わせて大雨による土砂災害のおそれあり避難指示が発令を想定に行政区長、消防団、民生委員が協力し実施している	毎年の行事として各団体と協力して実施していく。							振興会 行政区 消防団 民生委員
H	広報活動(情報誌発信)	振興会活動、地区の情報紙として振興会だよりを年間2回発行する。	年2回発行							振興会

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。